

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日 平成 22 年 4 月 14 日

Table with columns for 事務事業名 (Sports Association Support Project), 区分 (Main Business, Future Project, etc.), 事務事業No. (33135006), 課内No. (6), 所属部 (Education Committee), 所属課 (Sports Promotion), 課長名 (Shimizu Shigemasa), 所属係 (Sports Promotion), 担当者名 (Ishikawa Takayuki), 事業期間 (Single Year), 単年度のみ (Single Year), 単年度繰返し (Single Year Repeat), 期間限定複数年度 (Period-limited Multiple Years).

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

体育協会は、スポーツの振興及び技術の向上並びに生涯スポーツの推進を図るとともに、スポーツを通じ競技団体等相互の親睦を深め、市民の健康増進に寄与することを目的とし活動する団体である。市民が体育協会加盟団体でスポーツ活動を行ったり、主催事業に参加する事により、健康で明るい豊かな生活を送るために、市民のスポーツ活動の核となる体育協会の育成・強化を図るものである。(平成22年1月1日現在会員数:27団体4,469名)(職員の業務)・県体育協会及び市への補助金申請、実績報告・会議資料作成・関係者への会議案内等文書送付・体育協会主催事業募集及び参加者取りまとめ・県体育協会との連絡調整等(事業費の内容)・補助金

(1) 事務事業の目的

Table with 4 main rows: ①手段 (21年度 実際に行った主な活動), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか), ④結果 (どんな結果に結び付けるのか). Each row has a corresponding indicator table with columns for 活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標 and their units.

(2) 指標値の推移

Table showing indicator values from 18th to 23rd years. Columns include 区分 (Indicator), 単位 (Unit), and years (18年度実績, 19年度実績, 20年度実績, 21年度実績, 22年度計画, 23年度目標). Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts from 18th to 23rd years. Columns include 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 期間限定総投入量. Rows include 財源内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

・平成17年12月に発足。旧3町村が合併して桜川市になったことに伴い、旧町村にそれぞれあった体育協会が桜川市体育協会として一本化した。・少子高齢化や余暇時間の楽しみ方が多様化し、会員が減少傾向にある。・競技型志向から健康志向に変更している。(国・県において総合型地域スポーツクラブ活動の提唱)

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・スポーツ施設の充実を図ってほしい。・活動している内容や施設の利用等について、分かり易くPRや広報活動をしてほしい。・人材発掘、指導者の養成。

事務事業名	体育協会助成事業	事務事業No.	33135006	所属課	スポーツ振興課
-------	----------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) スポーツの振興と技術の向上並びに生涯スポーツの推進を図るとともに、スポーツを通じ競技団体等相互の親睦を深め、市民の健康増進に寄与することを目的とする活動(意図)は、会員がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活を送るという結果に結びついている。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 会員がその活動により、上記の意図、結果を生んでいく契機となっている。市民誰もが、運動やスポーツに親しめる環境を作っていかなければならない。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
有効性	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 対象は、会員であり妥当である。 スポーツの振興及び技術の向上並びに生涯スポーツの推進を図るとともに、スポーツを通じ競技団体等相互の親睦を深め、市民の健康増進に寄与するという目的に合致するので、意図は妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 成果指標の現状値は把握できていないが、研修会の開催、各競技団体における大会の開催、市民をも対象とした「ふれあいウォーク桜川」の開催等成果は上がってきている(充実した活動が図られつつある。)が、活動の更なる活性化を図っていく必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) ・活動の場が減少することにより、運動やスポーツに親しむ機会が失われる。 ・研修会や講習会の機会が失われることにより、人材育成や指導者養成が妨げられる。 ・各個人の費用負担が増えることにより、活動の停滞につながる。 ・会員間の連帯意識が薄れる。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 スポーツ少年団との連携 他に手段がない <input type="checkbox"/> 公的な組織として、他にスポーツ少年団があり、これらが連携することにより、成果の更なる向上が期待できる。(合同による指導者養成研修会の開催、各競技団体による世代間の交流等) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
公平性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 現在の厳しい社会情勢の折、会員が減少傾向にあり、活動費の確保にも一人一人の経済的な負担が大きくなり、活動の停滞を招きかねない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 体育協会本部の事業(研修会・事業等)及び各競技団体の活動(大会開催等)は、体育協会本部及び各競技団体の自主的な運営に移行している。競技団体でできることは競技団体で行うなど、行政との役割分担がなされている。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 体育協会加盟団体の大会開催時等の体育施設使用料が全額減免となっているが、一般の利用者との費用負担の公平性に欠けており、受益者負担の公平性の観点からも、見直しを検討していかなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公正・公平である	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	・成果指標の現状値は把握できていないが、研修会の開催、各競技団体における大会の開催、市民をも対象とした「ふれあいウォーク桜川」の開催等成果は上がってきている(充実した活動が図られつつある。)が、活動の更なる活性化を図っていく必要がある。 ・体育協会加盟団体の大会開催時等の体育施設使用料が全額減免となっているが、一般の利用者との費用負担の公平性に欠けており、受益者負担の公平性の観点からも、見直しを検討していかなければならない。																					
(3) 今後の事業の方向性																						
(複数回答可) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																						
(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3)-1 改革改善策																						
・役員や会員との話し合いの場を密に持ち連携することにより、体育協会活動の更なる活性化を図る。 ・受益者負担の公平性の観点から、大会開催時の体育施設使用料の全額減免や照明料の見直しについて、各加盟団体の理解を求める。																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
・役員や会員とともに、課題解決や活動の活性化に向けた方策を考える。 ・体育施設使用料の減免や照明料の見直し(受益者負担)について、各加盟団体の理解を得ていく。 ・秘書広報課と連携して、広報誌に各加盟団体を紹介するコーナーを設け、活動をPRして参加者の増員を図る。																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 B	確認欄 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項